

# 古代のまちづくりを訪ねて



私たちの街は、古代から長い年月の生活が積み重なって発展してきました。市内にある古墳や遺跡の一つ一つがそれぞれ個性を持ち、私たちに何かを語りかけてくれます。

「古きをたずねて新しきを知る」。そんな街かどウオッチングに鈴木恵美子さん（大淵小5年生）と井倉多香枝さん（広見小6年生）がチャレンジしてくれました。

## 古代から届いたタイムカプセル

土の中に眠っている  
古代人のメッセージ

発掘ってどんな  
仕事なの？

二人はお母さんに相談して一緒に、市役所の西隣にある埋蔵文化財整理作業所を訪ね、学芸員の久松義昭さんの話を聞きました。

多香枝さん 発掘ってなぜやるのですか。それと、この作業所ではどんな仕事をしていますか。

—— みんなの家でも何かの理由で住めなくなった場合、家は汚れ、腐って倒れてしまうよね。するとその上に草や木が生え、やがて枯れて土になってしまふんだ。例えば一年に土が一センチ積もるとして、百年で十センチ、千年では一メートルもなるね。だから土の中には、大昔の人の暮らしがそのまま埋まってるんだ。ちょうどタイムカプセルみたいだね。

—— 私たちが昔の生活を知ろうとする場合、普通は昔の本を読めば当時の様子がわかるけれど、文字のなかった時代のことはどうして知るかと言うと、土の中の遺跡や古墳を発掘して初めてわかるんだ。ふだんの私たちの生活には昔の人たちが積み重ねてきた知恵が生きているんだ。だから、未来を考へるとき、昔の事を知ることがとても大切なことなんだよ。

具、剣や鏡などを整理分類して、昔の暮らしを研究するんだ。一カ所の遺跡では何もわからないけれど何十カ所も調査すると、昔の富士の様子がだんだんわかってくるからね。そして最後に報告書という本をつくって、私たちの子孫のために残す仕事をしているんだよ。





△奈良・平安時代の宇東川遺跡



私たちに教えてくれたもの

自然に溶け込んで  
生きた人々

奈良・平安時代に  
現在の街の基礎が

恵美子さんのお母さん 今までの発掘でどんな事がわかりましたか。はい、今から約一万五千年前に愛鷹山麓に人が住み始め、約四千五百年前には縄文時代の村がたくさんでき、そして約二千年前には、今日の日本文化の基礎をつくった弥生時代の村がこの地域一帯にあったことがわかっています。縄文時代は、けものや魚や木の实などを、弥生時代は主に米を食べていましたが、どの時代も自然のサイクルをうまく利用して、自分たちの生活を組み立てていました。環境問題がクローズアップされている昨今、この時代を振り返ってみる必要がありますね。

——やがて古墳時代に入りますが富士市は県下でも古墳の多い地区として有名で、約六百基あります。四世紀末には「スルガノクニ」があり、王がいた事が知られています。奈良・平安時代になると、東海道、根方街道ができ、ほぼ現在の街の基礎ができ上がりました。特に東平遺跡は有名で、その遺跡の一部が広見公園内の歴史民俗資料館に復元されています。多香枝さんのお母さん 広見公園以外にも遺跡を復元した場所は？——総合運動公園の古墳広場、三ツ沢の実円寺西古墳などがあります。また、今年度中には天間沢遺跡公園が完成します。

みんなでつくりよう未来へのタイムカプセル

恵美子さん 私の家の下にも遺跡はありますか。

市には『富士市埋蔵文化財分布図』という地図があるから、市内の土の中の遺跡は調べれば全部わかるんだよ。ところで、富士市は三十年程前から急速に街が発展し家や道路が次々とできたんだ。だから広い面積の土地が掘り起こされ、多くの遺跡や古墳が人知

れずに姿を消しているんだ。そうした状況は、今でも変わらないんだよ。私たちができるだけ多くの遺跡を発掘調査して本をつくって、子孫へ伝えて行かなければならないんだ。遺跡から本に姿を変えたタイムカプセルとしてね。それがきつと明日の街づくりにつながっていくと思うよ。みなさんも近所で変わった土器の破片なんか

拾ったらすぐ教えてくださいね。多香枝さん・恵美子さん はい、きょうはありがとうございました。



井倉 洋子さん



鈴木 和代さん



鈴木恵美子さん

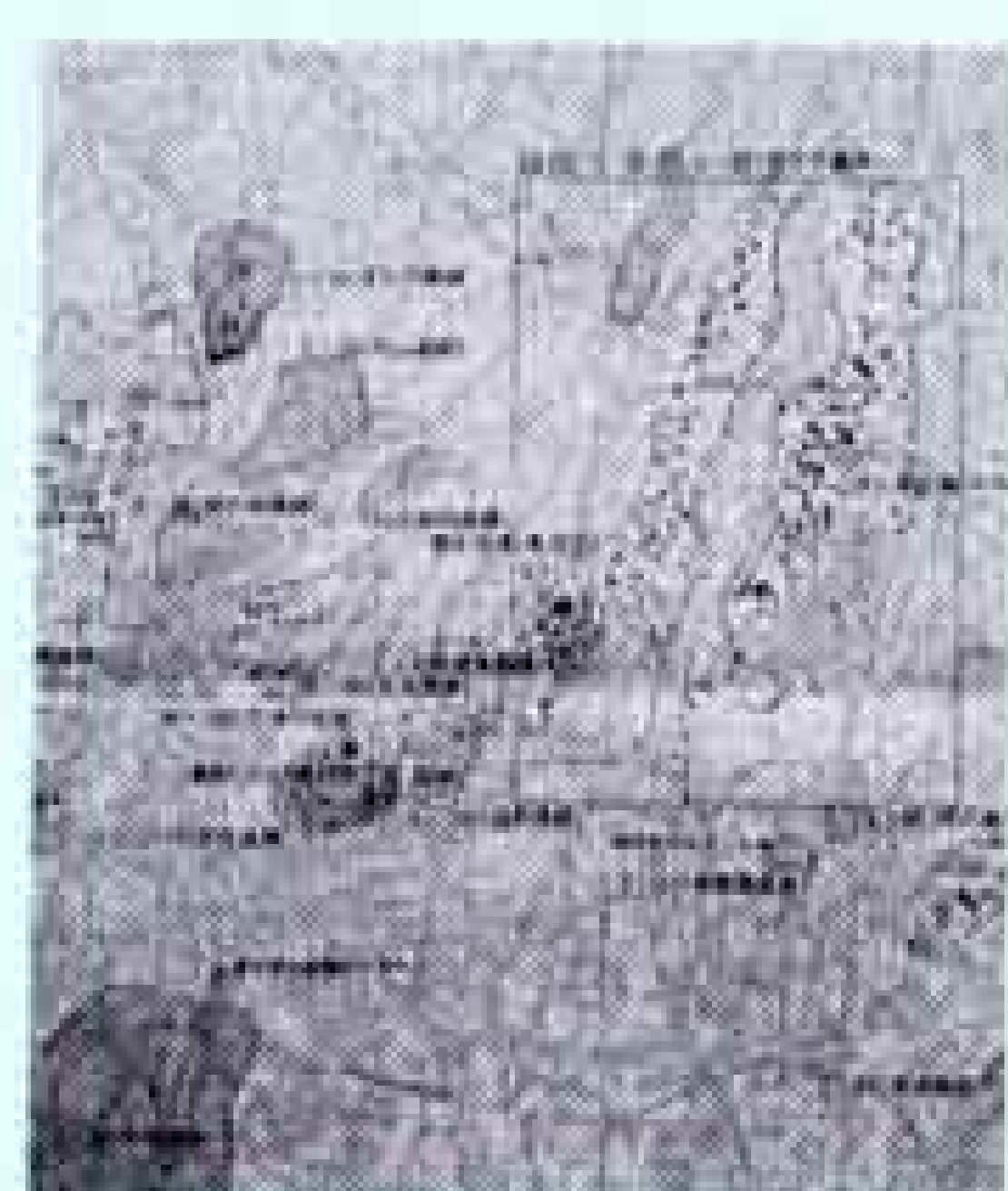


井倉多香枝さん



文化振興課 久松義昭

富士市埋蔵文化財  
分布地図



富士市  
原始・古代の旅



子どものための  
古墳の話



古代史

情報コーナー

現在市内には六百の古墳、百四十カ所の遺跡が発見されています。これらの遺跡や古墳、出土品を紹介する冊子を無料で差し上げています。ご利用ください。



問い合わせ 文化振興課 内線2721